

(12) 建設局

事務事業名 土木積算システム管理事業		予算額	65,493
局/部/課	建設局/技術管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 65,971
<事業の目的・内容> 土木・下水道工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価・歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。		財政局長	65,971
		市長	65,971
		査定区分	A
		前年度予算額	48,384
査定の考え方 所管局の要求どおり計上しました。		増減	17,109
事務事業名 営繕積算システム管理事業		予算額	9,883
局/部/課	建設局/技術管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 9,883
<事業の目的・内容> 建築工事及び設備工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価・歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。		財政局長	9,883
		市長	9,883
		査定区分	A
		前年度予算額	10,310
査定の考え方 所管局の要求どおり計上しました。		増減	△ 427
事務事業名 技術基準・技術管理事業		予算額	22,751
局/部/課	建設局/技術管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 22,842
<事業の目的・内容> 組織全体の技術管理体制を確立するために、公共工事における施工体制の適正化、公共工事コスト縮減対策の推進、建設副産物対策及び建設部門情報化の推進等に取り組みます。 また、各種協議会・団体等への対応、技術基準・技術管理全般についての事業等を行います。		財政局長	22,751
		市長	22,751
		査定区分	B
		前年度予算額	22,440
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	311
事務事業名 営繕事務事業（営繕課）		予算額	3,213
局/部/課	建設局/建築部/営繕課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 3,254
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の建築・改修工事等に関する設計、積算、工事監理等を実施します。		財政局長	3,213
		市長	3,213
		査定区分	B
		前年度予算額	3,237
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 24

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 営繕事務事業（保安全管理課）		予算額	1,479
局/部/課	建設局/建築部/保安全管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 13,396
<事業の目的・内容> 市有建築物の計画的な保全を推進するとともに耐震改修等を実施します。		財政局長	1,479
		市長	1,479
		査定区分	E
		前年度予算額	24,872
		増減	△ 23,393
査定の考え方	事業手法、実施時期等事業内容を精査しました。		
事務事業名 営繕事務事業（設備課）		予算額	1,863
局/部/課	建設局/建築部/設備課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	予算書P. 147	要求 1,863
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の建設・改修工事等に関する建築設備の設計、積算、工事監理等を実施します。		財政局長	1,863
		市長	1,863
		査定区分	A
		前年度予算額	1,863
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 建築総務事務事業		予算額	524,478
局/部/課	建設局/建築部/建築総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費	予算書P. 149	要求 632,232
<事業の目的・内容> 建築に係る環境への負荷の軽減、バリアフリーに配慮した人にやさしい秩序のある都市を形成するとともに、建築物の耐震化の促進など安全で安心なまちづくりを促進します。		財政局長	524,478
		市長	524,478
		査定区分	B
		前年度予算額	762,701
		増減	△ 238,223
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 建築確認事務事業		予算額	7,971
局/部/課	建設局/建築部/建築行政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費	予算書P. 149	要求 7,971
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく建築物、昇降機などの建築設備の建築確認審査、検査業務を実施します。		財政局長	7,971
		市長	7,971
		査定区分	A
		前年度予算額	8,951
		増減	△ 980
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 建築行政事務事業		予算額	28,246
局/部/課	建設局/建築部/建築行政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費	予算書P.	149
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく許可、認定、承認に関する業務及び区域等の指定に関する業務のほか、既存建築物における定期報告に係る改善指導、防災査察等による指導業務を実施します。 また、建築基準法に係る道路調書、道路図の整備・更新を行います。		要求	28,246
		財政局長	28,246
		市長	28,246
		査定区分	A
		前年度予算額	28,472
		増減	△ 226
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 道路管理事業（土木総務課）		予算額	894,626
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	予算書P.	149
<事業の目的・内容> 道路法第28条に基づく道路の管理事務として、市道の道路延長、幅員、面積等の測量を実施し、道路台帳の整備を行います。 また、道路台帳の閲覧、道路の占用許可、境界確認等、市民に密着した窓口業務を実施することにより、市民への正確な情報提供や道路管理の適正化を推進します。		要求	895,465
		財政局長	894,663
		市長	894,663
		査定区分	B
		前年度予算額	895,492
		増減	△ 866
査定の考え方	事業手法、箇所等事業内容を精査しました。		
事務事業名 道路管理事業（道路環境課）		予算額	14,280
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	予算書P.	149
<事業の目的・内容> 整備済の道路側溝の種類、流下方向を整理した台帳図を整備に合わせて修正することにより、最新の状況を把握し、窓口での問合せ等の業務に活用します。		要求	14,280
		財政局長	14,280
		市長	14,280
		査定区分	A
		前年度予算額	17,530
		増減	△ 3,250
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 道路橋りょう事務事業		予算額	8,205
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	予算書P.	149
<事業の目的・内容> 車両の賃借料や消耗品費等、日常業務を行う上で必要となる経常的な庶務経費です。		要求	8,205
		財政局長	8,205
		市長	8,205
		査定区分	A
		前年度予算額	8,203
		増減	2
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 私有舗装等整備助成事業			予算額 50,000	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	予算書P. 149	要求	50,000
<事業の目的・内容> 市道として認定することが困難な私有の舗装、排水施設等の整備を行う者に対して、費用の一部を助成し、市民の生活環境の向上を図ります。			財政局長	50,000
			市長	50,000
			査定区分	A
			前年度予算額	50,000
増減			0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。			
事務事業名 道路維持事業			予算額 5,231,624	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/2目 道路維持費	予算書P. 151	要求	5,295,296
<事業の目的・内容> 道路パトロールや市民からの通報に基づき、舗装や道路付属物などの損傷箇所を修繕することにより、安心・安全で快適な道路環境を維持します。 また、スマイルロード整備事業においては、沿道の方々からの申請に基づき道路の整備を進めます。			財政局長	5,229,272
			市長	5,229,272
			査定区分	B
			前年度予算額	4,917,819
増減			313,805	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。			
事務事業名 県臨時地方道償還金負担金			予算額 570,000	
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課		〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	予算書P. 151	要求	570,000
<事業の目的・内容> 平成15年の政令指定都市移行に伴い、埼玉県から移譲された道路に係る臨時地方道整備事業債(一般分)の元金償還金の一部を負担します。			財政局長	570,000
			市長	570,000
			査定区分	A
			前年度予算額	570,000
増減			0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。			
事務事業名 道路整備事業			予算額 851,522	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	予算書P. 151	要求	765,401
<事業の目的・内容> 道路幅員が4メートル未満の道路においては、消防・救急などの緊急活動の妨げとなるほか、道路排水の悪い箇所があるなど様々な問題を抱えています。 これらの問題に対処するため、沿道の方々からの申請に基づき、道路用地の寄附を受けて行う暮らしの道路整備事業により生活道路の整備を進めます。			財政局長	765,401
			市長	765,401
			査定区分	A
			前年度予算額	984,250
増減			△ 132,728	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。			

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 道路管理事業（道路計画課）		予算額	31,772
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費 予算書P. 151	要求	31,788
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹的市道の整備を推進するための一般事務経費です。また、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行うものです。		財政局長	31,788
		市長	31,788
		査定区分	A
		前年度予算額	30,190
		増減	1,582
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 道路新設改良事業		予算額	2,952,788
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費 予算書P. 151	要求	2,971,388
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹的市道の交通基盤となる幹線道路網を整備推進し、計画的に道路の新設及び道路拡幅改良を行う路線整備事業です。		財政局長	2,952,788
		市長	2,952,788
		査定区分	B
		前年度予算額	2,650,065
		増減	302,723
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 国直轄道路事業負担金		予算額	400,000
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費 予算書P. 151	要求	400,000
<事業の目的・内容> 道路法第50条の規定により、国土交通省が直轄で施行する道路事業(新設、改築等)に対する負担金です。		財政局長	400,000
		市長	400,000
		査定区分	A
		前年度予算額	400,000
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 橋りょう維持事業		予算額	1,759,682
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/4目 橋りょう維持費 予算書P. 153	要求	1,847,297
<事業の目的・内容> 橋りょうの老朽化による維持管理費の縮減のために策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、修繕を実施します。 また、震災時における道路ネットワークを確保するために橋りょう耐震補強工事を行うことにより、橋りょうの機能を維持し、安心して安全な道路環境の確保を図ります。		財政局長	1,759,682
		市長	1,759,682
		査定区分	B
		前年度予算額	1,710,711
		増減	48,971
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 橋りょう整備事業		予算額	161,539
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/5目 橋りょう新設改良費	予算書P.	153
<事業の目的・内容> 河川に架かる橋りょうについては、河川計画が事業化された際に、河川改修断面に合わせて架替えが必要となることから、河川管理者と協議を行い、計画の進捗にあわせた整備事業を実施します。		要求	161,539
		財政局長	161,539
		市長	161,539
		査定区分	A
		前年度予算額	25,670
査定の考え方 所管局の要求どおり計上しました。		増減	135,869
事務事業名 交通安全施設整備事業		予算額	2,048,461
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/6目 交通安全施設整備費	予算書P.	153
<事業の目的・内容> 歩行者等の安全な通行を確保するため、幹線道路の歩道整備、主要駅周辺の電線類の地中化を実施します。また、踏切内の歩行空間整備を行う踏切改良、車両や歩行者へ注意喚起を促す路面表示を警察の速度規制と連携して行うゾーン30の推進、自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行環境の整備等により、安全かつ快適な道路空間の確保を進めます。		要求	2,208,457
		財政局長	2,048,461
		市長	2,048,461
		査定区分	B
		前年度予算額	2,602,182
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 553,721
事務事業名 河川事務事業（土木総務課）		予算額	2,399
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	予算書P.	155
<事業の目的・内容> 河川事業の管理運営を円滑に処理するための事務経費です。 河川賠償責任保険に関する事務、河川事業の促進を図るための協議会に関する事務を行います。		要求	2,399
		財政局長	2,399
		市長	2,399
		査定区分	A
		前年度予算額	2,520
査定の考え方 所管局の要求どおり計上しました。		増減	△ 121
事務事業名 河川事務事業（河川課）		予算額	3,734
局/部/課	建設局/土木部/河川課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	予算書P.	155
<事業の目的・内容> 河川事業を円滑に処理するための事務経費です。		要求	3,734
		財政局長	3,734
		市長	3,734
		査定区分	A
		前年度予算額	3,985
査定の考え方 所管局の要求どおり計上しました。		増減	△ 251

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 河川維持管理事業		予算額	771,931
局/部/課	建設局/土木部/河川課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	予算書P. 155	要求 771,931
<事業の目的・内容> 治水安全度を確保するため、河川・水路の草刈、浚渫等を行い、ポンプ施設の維持管理を行います。また、緊急水害時においてポンプ、土のう等を設置します。			財政局長 771,931
			市長 771,931
		査定区分	A
		前年度予算額	772,778
		増減	△ 847
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 水辺環境整備事業		予算額	8,703
局/部/課	建設局/土木部/河川課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	予算書P. 155	要求 8,703
<事業の目的・内容> 生物と人間が共生できる豊かな自然と河川浄化を市民にアピールするため、水辺環境の維持管理を行います。			財政局長 8,703
			市長 8,703
		査定区分	A
		前年度予算額	8,702
		増減	1
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 河川改修事業		予算額	2,304,008
局/部/課	建設局/土木部/河川課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/2目 河川改良費	予算書P. 155	要求 2,336,993
<事業の目的・内容> 浸水被害を軽減し、流域の市民の安全を守るため、川幅を拡幅し、川底を掘り下げること等により、改修工事を進め、1時間当たり30～50mmの雨量に対応する整備を行います。また、都市化の著しい河川流域における雨量流出量の増大等に対応するため、流域内の小・中学校及び公園に貯留浸透施設の設置を進め、治水安全度の向上を目指します。			財政局長 2,304,008
			市長 2,304,008
		査定区分	B
		前年度予算額	2,330,831
		増減	△ 26,823
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 都市下水道維持管理事業		予算額	14,891
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水道費	予算書P. 157	要求 14,899
<事業の目的・内容> 都市下水道施設の機能管理の充実を図るため、維持管理事業を実施します。			財政局長 14,891
			市長 14,891
		査定区分	B
		前年度予算額	16,028
		増減	△ 1,137
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 排水路維持管理事業		予算額	365,342
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水路費	予算書P. 157	要求 380,607
<事業の目的・内容> 市街化区域内の排水路を良好な状態に保つため、適切な維持管理を実施し、良好な環境及び市民の安心安全を確保します。		財政局長	365,342
		市長	365,342
		査定区分	B
		前年度予算額	454,950
		増減	△ 89,608
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 芝川都市下水路維持管理負担金		予算額	8,496
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水路費	予算書P. 157	要求 8,496
<事業の目的・内容> 桶川市を起点とし、上尾市・本市を流下する芝川都市下水路の維持管理を三市の共同事業で行うことによる負担金です。		財政局長	8,496
		市長	8,496
		査定区分	A
		前年度予算額	7,524
		増減	972
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 南下新井污水处理場使用料賦課徴収事業		予算額	908
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/4目 排水処理費	予算書P. 157	要求 908
<事業の目的・内容> 南下新井污水处理場に係る使用料の賦課徴収事務を、水道料金の徴収業務と一元化して実施するため、水道局に対して本使用料の徴収経費等を負担します。		財政局長	908
		市長	908
		査定区分	A
		前年度予算額	908
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 南下新井污水处理場維持管理事業		予算額	174,129
局/部/課	建設局/下水道部/下水処理センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/4目 排水処理費	予算書P. 157	要求 174,829
<事業の目的・内容> 南下新井污水处理場は、岩槻区南部の大字南下新井地区及び大字黒谷地区の一部(12.3ha)を処理区域とする、し尿処理施設です。この施設を適切に維持管理することにより、区域内住民の健全な公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全を図ります。		財政局長	174,129
		市長	174,129
		査定区分	B
		前年度予算額	77,218
		増減	96,911
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 街路管理事業（土木総務課）		予算額	6,393
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	予算書P. 161	要求 6,393
<事業の目的・内容> 街路事業のために先行取得した用地や代替地の管理を行います。			財政局長 6,393
			市長 6,393
		査定区分	A
		前年度予算額	6,393
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 街路管理事業（道路計画課）		予算額	167,225
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	予算書P. 161	要求 185,168
<事業の目的・内容> 街路事業を整備推進するための一般事務経費、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行うものです。			財政局長 167,195
			市長 167,225
		査定区分	B
		前年度予算額	146,784
		増減	20,441
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 街路整備事業		予算額	7,685,809
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	予算書P. 161	要求 7,707,068
<事業の目的・内容> 都市計画道路の整備を積極的に進めることにより、市内の交通渋滞の緩和や快適な市民生活と円滑な都市活動を確保し、物流の効率化や市街地の活性化等を目的とします。			財政局長 7,685,809
			市長 7,685,809
		査定区分	B
		前年度予算額	9,235,807
		増減	△ 1,549,998
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 市営住宅維持管理事業		予算額	573,626
局/部/課	建設局/建築部/住宅課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	予算書P. 165	要求 576,478
<事業の目的・内容> 住宅に困窮する市民に対して、良質で低廉な家賃の住宅を安定的に供給するために、募集から住宅及び付帯設備まで適切に維持管理を行います。			財政局長 574,696
			市長 574,696
		査定区分	B
		前年度予算額	475,699
		増減	97,927
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

事務事業名 住宅政策推進事業		予算額	4,746
局/部/課	建設局/建築部/住宅課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	予算書P. 165	要求 6,211
<事業の目的・内容> 住生活基本法により策定した「さいたま市住生活基本計画」に基づく住宅施策を推進し、市民の住生活の安定の確保と向上を図ります。		財政局長	4,746
		市長	4,746
		査定区分	C
		前年度予算額	4,610
		増減	136
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 優良住宅等推進事業		予算額	11,233
局/部/課	建設局/建築部/住宅課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	予算書P. 165	要求 11,233
<事業の目的・内容> 優良な民間住宅の供給を推進するため、事業者からの長期優良住宅や低炭素建築物等の認定及び普及・促進を行います。		財政局長	11,233
		市長	11,233
		査定区分	A
		前年度予算額	19,694
		増減	△ 8,461
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 市営住宅建替事業		予算額	2,178,719
局/部/課	建設局/建築部/住宅課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/2目 住宅建設費	予算書P. 167	要求 2,178,794
<事業の目的・内容> 市営住宅は昭和30年代後半から40年代にかけて建設された住宅が多く存在しており、建物の老朽化が進行していることから、安心して暮らせる住まいづくりを推進するため、老朽化が顕著と認められる市営住宅について計画的な建替を実施します。		財政局長	2,178,719
		市長	2,178,719
		査定区分	B
		前年度予算額	507,274
		増減	1,671,445
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 下水道事業会計繰出金		予算額	4,984,074
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	8款 土木費/8項 公共下水道費/1目 公共下水道費	予算書P. 167	要求 5,034,339
<事業の目的・内容> 下水道事業における公費負担分(雨水処理費他)を一般会計で負担することにより、下水道事業を進展させることができます。		財政局長	4,984,045
		市長	4,984,074
		査定区分	B
		前年度予算額	4,919,067
		増減	65,007
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害復旧費（河川課）		予算額	2
局/部/課	建設局/土木部/河川課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	11款 災害復旧費/2項 土木施設災害復旧費/1目 土木施設災害復旧費	予算書P. 193	要求 2
<事業の目的・内容> 大規模災害発生時に土木施設の復旧を速やかに行います。		財政局長 2	
		市長 2	
		査定区分	A
		前年度予算額	2
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(企業会計)

(単位：千円)

会計名 下水道事業会計		予算額	54,298,560
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	〔要求と査定経過〕	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	要求	54,423,280
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	財政局長	54,298,424
局/部/課	建設局/下水道部/下水道計画課	市長	54,298,560
局/部/課	建設局/下水道部/下水処理センター	査定区分	B
予算書	下水道事業会計予算書		
<事業の目的・内容> 市民の公衆衛生の向上及び都市の健全な発達に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全と浸水の防除に資するため、施設の整備及び維持管理を実施します。		前年度予算額	56,164,042
		増減	△ 1,865,482
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。